

of "thing" and a similitude to "unity of opposites." Eliade noted that modern man's "private myth" as found in Pulakesin can no longer rise to the heights of existential myth. On the other hand, this is what Merleau-Ponty confirmed: taking the metaphysical meaning of this illness (schizophrenia) as the axis to interpret Cezanne. The "religious-historical" horizon before us is expansive, deep, and stygian . . .

Saburo Yagi — The Path Towards Normalization (28) Urban Design for Social Welfare[15]

Given the background of our aging society, facilities installed to meet the particular demands of the disabled are undergoing a transition from barrier free to universal design.

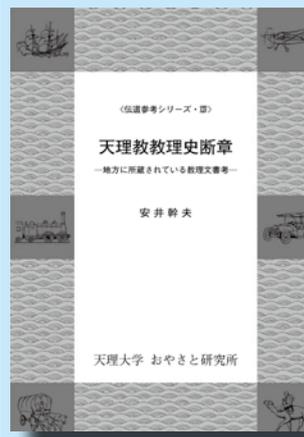
The intent of "fair use by anyone" as found in universal design is not to have everyone make use of disabled facilities, which often may be limited to one facility or restricted physically in some other way.

Universal design is an import from United States, which places value in "fair accessibility." In order to disseminate this thinking in our society, we need to appeal to the society about the original intent of the notion of fair use by anyone. Universal design is to have all parking spaces and restrooms be accessible to people who require wheelchairs. We need to be more vocal about the original meaning of the term "common use" and seek greater awareness of its intent and significance to a wider range of people and thus place more emphasis on improved morals regarding this issue.

(11 頁からの続き)

た。ちょうど2年前、フォコラーレ運動のジェンフェスト（若人の祭典）が、ハンガリーのブタペストで開かれ、12,000人の若人が集ったときだ。天理教もその時正式に招待され、5人が参加した。今回の大会にも天理教者として招待され、参加したが、多くの宗教者が助け合い、「一致」運動を通して世界平和の確立のために協力している姿に感銘した。教服姿で参加した小生に対して、フォコラーレのメンバー、それ以外の宗教の人が興味を抱き、食事の時には、毎回違う人たちが寄って来て、話をし、親しくなった。総じて、皆親切で、穏やかで明るい、温かな人たちであった。最終日には、天理教の説明をしていくということで、教理の基本、歴史的流れを要約して説明したが多くの人が興味を持ってくれたようだ。

新刊案内



《伝道参考シリーズ・XXV》
天理教教理史断章
—地方に所蔵されている教理文書考—

著者 安井幹夫

本書は、2006年から2009年2月までの3年余、『グローバル天理』に連載されたものである。著者の手元にある地方に所蔵されていた、とくに明治期の教理文書を順次紹介、翻刻を試みている。そのうちの38回分をまとめてある。(頒価700円)

『グローバル天理』年間購読のご案内

原則的に新年度は1月号からとなっております。購読料については、送料のみの実費負担です。申し込みは、封書、FAX、メールでお願い致します（お電話での申し込みはご遠慮下さい）。毎月の希望冊数と、氏名(フリガナも)、郵便番号、住所、電話、FAX、E-Mail、職業をお知らせ下さい。申し込み受付後に振込み用紙を送付致します。切手・現金でのお支払いはご遠慮下さいようお願い致します。振込みを確認後、発送させていただきます。

送料 (ヤマト運輸メール便)

全国一律、A4 (角2) 厚さ1cmまで (10冊まで) 80円でお届けします。

11冊以降は160円になります。

例 毎月1～10冊購読 80円×12カ月=960円

毎月11冊～購読 160円×12カ月=1,920円

問い合わせ先:

〒632-8510 奈良県天理市杣之内町1050

天理大学 おやさと研究所 「グローバル天理」編集部

FAX 0743-63-7255 E-Mail: oyaken@sta.tenri-u.ac.jp

おやさと研究所

「開講 20 周年記念・公開教学講座」のお知らせ

今年度（平成26年度）の公開教学講座は、9月から開講を予定しています。

詳細は本誌次号以降で改めてご案内致しますが、今回は開講20周年を記念して講演会と教学講座に分けて実施する予定です。

記念講演会では二人の講師がそれぞれのテーマに基づいて講演し、教学講座では毎回一つのテーマに基づいて二人の講師が「教理」と「展開」に分けて講演する予定です。とくに「展開」では、実践的で日常のおたすけ場面に寄与できる内容を想定しています。

今回も、多数のみなさまのご来場をお待ちしています。

グローバル天理

第15巻 第6号 (通巻174号)

2014 (平成26) 年6月1日発行

© Oyasato Institute for the Study of Religion
Tenri University

発行者 深谷忠一

編集発行 天理大学 おやさと研究所

〒632-8510 奈良県天理市杣之内町1050

TEL 0743-63-9080

FAX 0743-63-7255

URL <http://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/j-home.htm>

E-mail oyaken@sta.tenri-u.ac.jp

印刷 天理時報社

Printed in Japan